

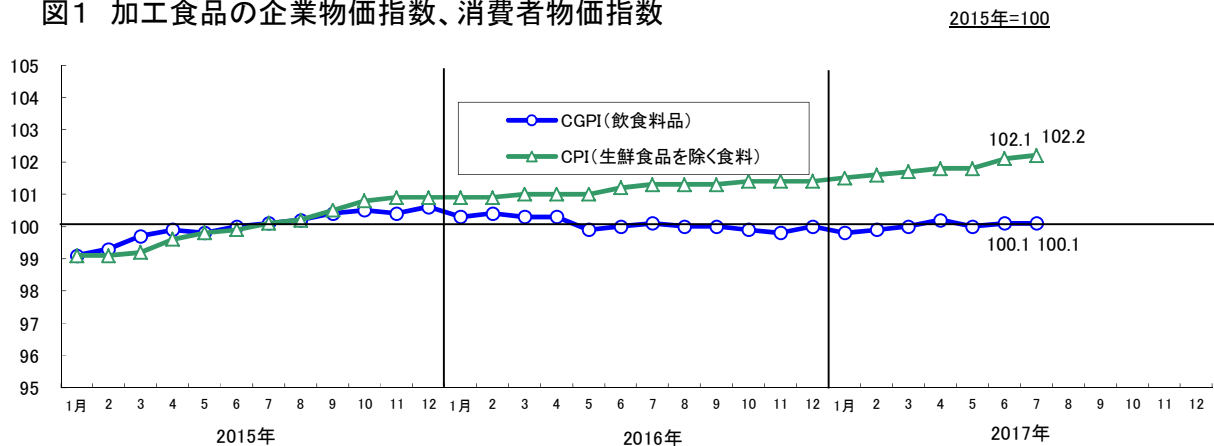
# 加工食品の物価及び生産・販売動向

## 1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は概ね横ばい傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同 102.2 で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



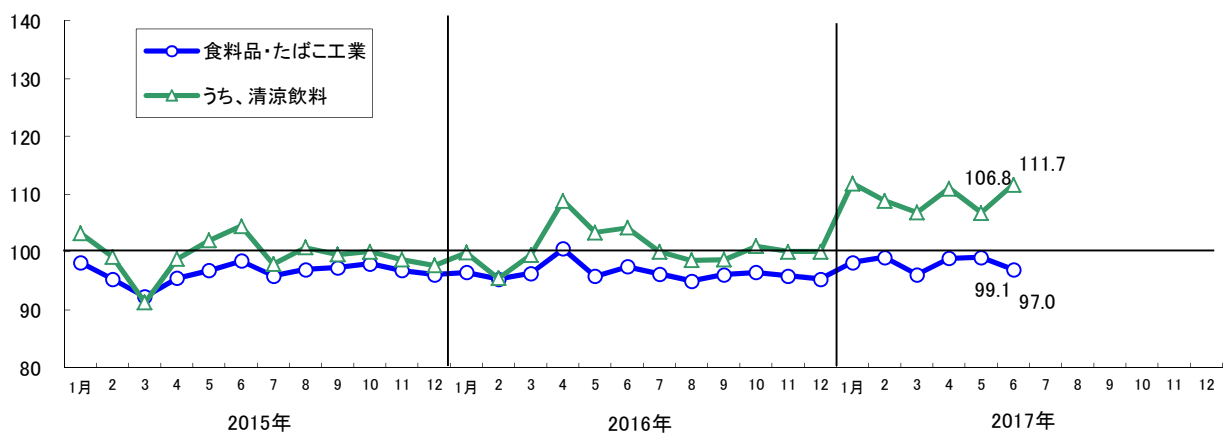
資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

## 2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに低下、清涼飲料はやや上昇

2017年6月の食料品・たばこ工業の生産指数は、97.0で前月比▲2.1%とわずかに低下した。うち、清涼飲料は111.7で前月比4.6%とやや上昇した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

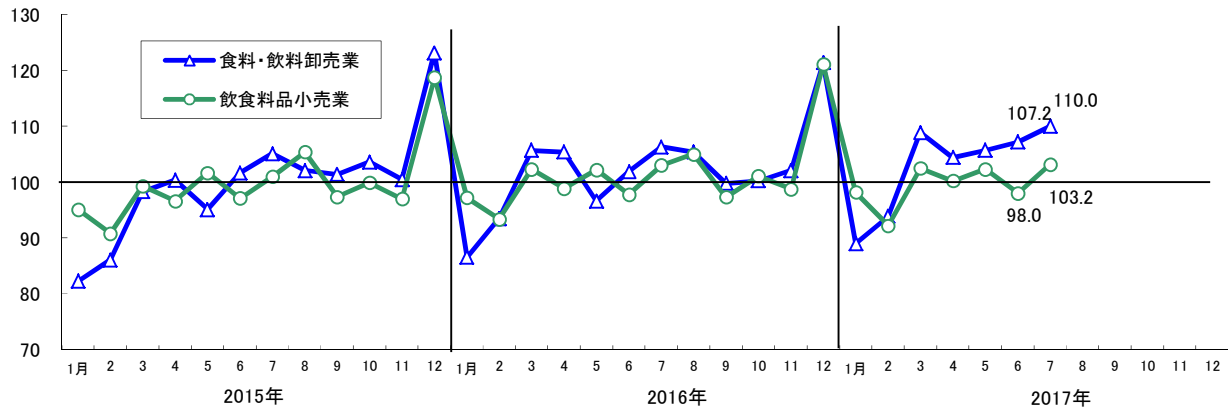
### 3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや上昇、小売業販売額は同横ばい

2017年7月の食料・飲料卸売業の販売額指数は110.0で対前年同月比3.5%とやや上昇した。飲食料品小売業の販売額指数は103.2で同0.2%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

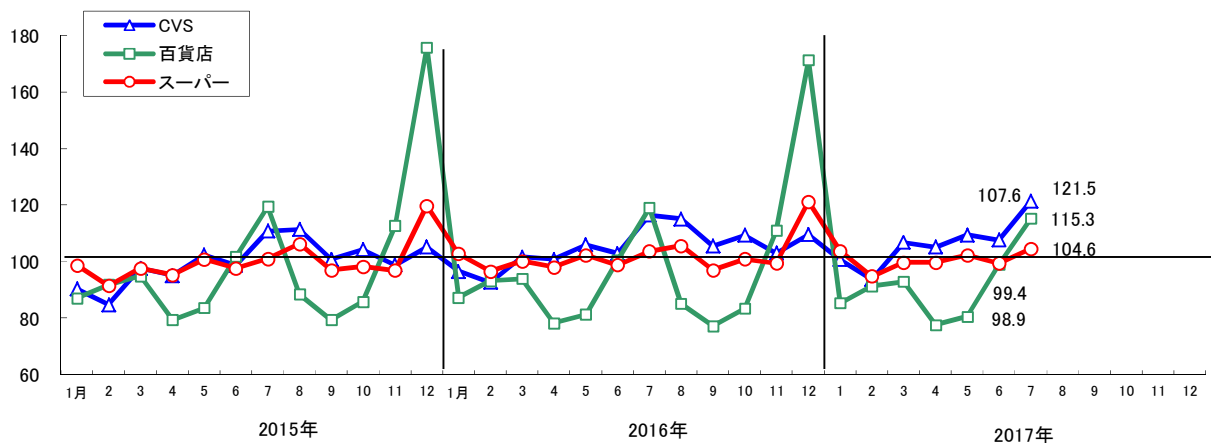
### 4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でやや増加、スーパーは同わずかに増加、百貨店は同やや低下

2017年7月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは121.5で対前年同月比4.3%とやや増加、スーパーは104.6で前年同月比1.0%とわずかに増加、百貨店は115.3で前年同月比▲3.1%とやや低下で、コンビニエンスストアは堅調に推移した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。